

2002年10月19日(土)～12月1日(日)

開館時間：9：30～17：00

観覧料：大人 200円(160円) 高校・大学生 100円(80円)  
小・中学生 50円(40円) 市内在住の65歳以上の方は半額  
土曜日は市内小・中学生は無料

( )内は20名以上の団体割引料金

休館日：月曜日。ただし11月4日(休)は開館し、翌5日(火)が休館。

# 戦争と人々の暮らし 戦時下の吹田



「戦時下の隣組風景」(「銃後之吹田」より・吹田市広報課所蔵)

## 吹田市立博物館

〒564-0801 大阪府吹田市岸部北四一〇一

TEL 〇六-六三三八-五五〇〇

吹田市・吹田市教育委員会 共催

### 特別陳列講演会

11月10日(日) 14：00～15：30

「太平洋戦争と吹田ー吹田警察署長の日記にみるー」

講師：小山 仁示氏(関西大学名誉教授)

会場：吹田市立博物館 講座室

### 戦争体験のお話と展示解説

11月23日(祝) 14：00～15：30

講師：治村 昌子氏

会場：吹田市立博物館 講座室

昭和6年（1931）の満州事変から昭和20年（1945）の太平洋戦争終結に至る15年という長きにわたる戦争は、アジア・太平洋諸国や日本に大きな被害を与え、人々は苦しい生活を余儀なくされました。今回の特別陳列では、吹田という地域からみた戦争の実態を、残されたさまざまな戦争資料を展示し、人々の戦時下の暮らしをみてみたいと思います。



空襲警報木札



「西沢日記」

「西沢日記」は戦争当時の吹田警察署長であった西沢与志雄氏が綴った日記です。この日記は吹田市内の空襲被害の状況や建物疎開の実態などを知ることができる貴重な資料で、まさに吹田という地域にとっての戦争を考える好材料となります。展示ではこの「西沢日記」を構成のキーポイントとして、吹田の戦時下の庶民の生活史を展開したいと考えます。

戦争を知らない世代が多くなりつつある現在、戦争という時代の記憶を風化させることなく、若い世代に戦争の悲惨な状況を正しく理解してもらい、平和の尊さを実感してもらえれば幸いです。この特別陳列では今後も戦争の記憶が薄れていくことがないように、地域の博物館ならではの地域の戦争展を企画するものです。



「少年戦車兵募集ポスター」（大阪国際平和センター所蔵）



「戦時熱管理非常強化期間ポスター」（大阪人権博物館所蔵）

#### 交通案内

- JR 岸辺駅下車徒歩25分
- JR 吹田駅・阪急吹田駅から  
桃山台駅前ゆき、山田榎切山ゆきバス「佐井寺北」  
下車徒歩10分  
千里中央ゆき、阪急山田ゆきバス「岸部」  
下車徒歩10分
- JR 吹田北口から  
五月が丘南ゆきバス「五月が丘西」下車徒歩7分
- 阪急南千里駅から  
JR 吹田ゆきバス②、③系統「佐井寺北」  
下車徒歩10分

#### （交通案内図）

